

総領事館便り6月号

★日本入国時の水際対策について

6月1日より、日本の水際措置が変更となりました。インドネシアは「青」区分に分類され、インドネシアから日本に入国する際は、ワクチン接種の有無にかかわらず、入国時検査及び入国後の自宅等の待機はありません。

他方、これまで同様、日本入国にはインドネシア出国前72時間以内に受検したPCR検査陰性証明書が必要ですのでご注意ください。その他に必要な書類は質問票のみとなり、これまで求められていた誓約書やアプリ「My SOS」のダウンロードは不要となります。

ファストトラック（入国必要書類の事前登録制度）は引き続き利用可能ですが、利用時に必要な書類はこれまでと変更なく、システム上、アプリを通じてワクチン接種証明書や誓約書の入力が必要となっており、御了承ください。

日本入国時の水際対策は新型コロナウイルスの感染拡大状況により変更となる可能性があります。帰国の際には最新の情報に注意いただくよう、よろしくお願いいたします。

各区分における具体的な水際措置

https://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/cp/page22_003380.html

ファストトラック詳細

<https://www.hco.mhlw.go.jp/fasttrack/>

★国際交流基金巡回展「妖怪大行進」の開催

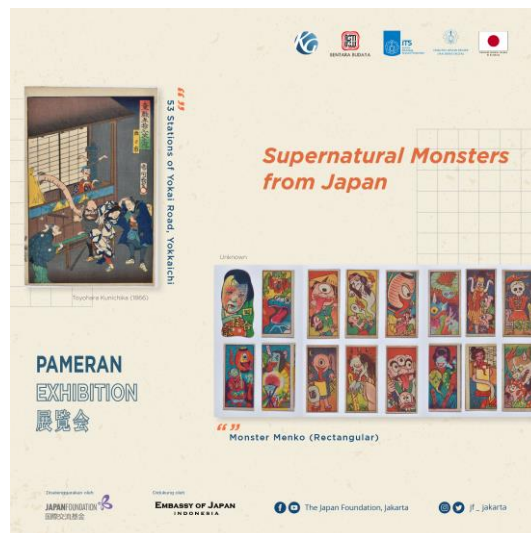
7月13日から8月2日まで、11月10日工科大学（スラバヤ工科大学／ITS）クリエイティブデザイン・デジタルビジネス学部（Fakultas Desain Kreatif dan Bisnis Digital）において、国際交流基金巡回展「妖怪大行進：日本の異形のものたち」を開催します。本展覧会は、日本妖怪博物館（三次もののけミュージアム）名誉館長の湯本豪一氏監修により、古くから絵巻物や錦絵などに表現されてきた日本の妖怪文化を、体系的に紹介します。江戸時代の《百鬼夜行絵巻》や、歌川国芳の《土蜘蛛襲来図》、葛飾北斎の《百物語》などの浮世絵作品から、和本、おもちゃ、そして現代の『ゲゲゲの鬼太郎』やアマビエグッズへと、次第に民衆にとって身近になるメディアの変遷とともに、妖怪のイメージが怖いものから親しげで可愛らしいものへと変化する様子と、人々の想像力に生き続ける妖怪文化の魅力を紹介します。

日時：2022 年 7 月 13 日（水）～8 月 2 日（火） 9：00～17：00

会場：Institut Teknologi Sepuluh Nopember (ITS)

Gedung Desain Interior DI.101-DI.102

（インテリア・デザイン棟 DI.101-DI.102 教室）



(了)